

商工振興課長の仕事宣言！ 進行管理表

商工振興課長 佐藤 道夫

①重点施策項目名	魅力ある商店街づくりを進めます
②目標値	中心商店街の空き店舗率 (現状値) 13.1% ⇒ (H28) 11.0% (H32) 5.0%
③今年度の取組方針	・商店街の活性化と賑わいづくりを行うため、鳥栖市商業活性化推進協議会、鳥栖市商店街連合会が取り組む活動に掛かる経費を補助し、支援を行うことで、魅力ある商店街づくりを進めます。
④上半期の取組内容	・幹事会や先進地視察、研修会等を通じて、中心市街地の賑わいづくりや今後の活性化策について議論しました。
⑤下半期の取組内容	・鳥栖市商業活性化協議会では、幹事会を開催し、商店街の歩行者通行量調査を実施や先進地視察や研修会等を開催するなど商店街の活性化や賑わい創出などについて議論しました。 ・鳥栖市商店街連合会では、「九州まん祭」や「ハートライトフェスティバル」をJCや鳥栖商工会議所青年部と共催し、中心商店街の賑わい創出を図るイベントを実施しました。
⑥数値目標の結果	中心商店街の空き店舗率 12.8% (H29.1現在) 140店舗中18空き店舗
⑦成果と課題 (次年度に向けて)	・年度目標の空き店舗率の11%に対し、12.8%で目標未達ではありましたが、全体の営業店舗数で見ると、前年度121店舗数に対し本年度は1店舗増加し、122店舗数でありました。 ・近年の空き店舗率は、微減ではあるが改善してきております。今後もこの傾向を維持継続していくため、商店街の活性化や賑わい創出等に取り組む関係団体の支援、情報提供などに取り組みます。

◇所管部長の指示

上半期

商店街の活性化につながるよう、支援・情報提供などに努めること。

下半期

引き続き関係機関と連携・支援し、商店街の活性化に努めること。

商工振興課長の仕事宣言！ 進行管理表

商工振興課長 佐藤 道夫

①重点施策項目名	観光客の受入体制づくりを行います
②目標値	観光施設・イベント等の集客数 (現状値) 1,187,911人 ⇒ (H28) 6,600,000人 (H32) 6,800,000人
③今年度の取組方針	・鳥栖市を訪れる人が心地よく滞在を楽しみ、リピーターとして再び訪れてもらえるよう、鳥栖観光コンベンション協会等と一体となって新鳥栖駅観光案内所や鳥栖プレミアム・アウトレットでのおもてなし体制を整え、市内観光情報等の発信を行います。
④上半期の取組内容	・新鳥栖駅観光案内所、サガン鳥栖ホームゲーム及び鳥栖プレミアム・アウトレットでのとす！トリップマルシェ（観光物産展）並びにまつり鳥栖等のイベント等において、来訪者などを対象におもてなしや観光・物産等の情報発信を行いました。
⑤下半期の取組内容	・上半期と同様、新鳥栖系観光案内所でのおもてなしや集客を図る長崎街道まつり、大山祇神社ライトアップ及び弥生まつりなどのイベントを開催し集客促進を図りました。また、12月と3月には、鳥栖プレミアム・アウトレットにて、来場者の市内回遊を図るため、とす！トリップマルシェ（観光物産展）を開催しました。
⑥数値目標の結果	観光施設・イベント等の集客数 6,666,084人（H28.3公表によるH26佐賀県観光客動態調査） 注）今回から、鳥栖プレミアム・アウトレット等来場者数を含む数値へ変更。
⑦成果と課題 （次年度に向けて）	・集客数は、近年伸び続けています。 ・今後も引き続き、来訪者のおもてなし、各種イベントの開催、観光・物産などの情報発信等に取り組み、集客数の向上に努めます。

◇所管部長の指示

上半期

観光客の誘致につながる催事などの実施、情報の発信に努めること。

下半期

引き続き様々な取り組みを実施し、誘客促進に努めること。

商工振興課長の仕事宣言！ 進行管理表

商工振興課長 佐藤 道夫

①重点施策項目名	新産業の集積を図ります
②目標値	製造品出荷額等 (現状値) 3, 381億円 ⇒ (H28) 3, 590億円 (H32) 3, 930億円
③今年度の取組方針	・企業誘致を図るため、企業誘致の受け皿となる新産業集積エリア整備事業を着実に推進するため、用地取得及び造成工事に着手します。
④上半期の取組内容	・開発予定地内の農地等の用地取得や地元調整に努め、面積ベースで約7割の用地を取得しました。 ・造成工事の着手に向けた法的手続き等について、関係機関と協議・調整を行いました。
⑤下半期の取組内容	・開発区域内の用地取得については、面積ベースで9割を超える用地を取得しました。 ・造成工事に向けた法的手続き等に着手し、造成工事前の事前調査（井戸関係）の着手及び関連工事の手続きに着手しました。
⑥数値目標の結果	・分譲に至っていないため未達成 参考値 3, 399億円（(H26確定値) H28公表）
⑦成果と課題（次年度に向けて）	・用地取得等に不測の日数を要したため、年度内の造成工事が未着手となりました。 ・新年度は、早い時期に用地取得等を完了し、法的手続き及び造成工事に着手します。

◇所管部長の指示

上半期

早期の竣工に向けて、地元調整に努めること。

下半期

早期の用地取得の完了及び造成工事に着手に努めること。

商工振興課長の仕事宣言！ 進行管理表

商工振興課長 佐藤 道夫

①重点施策項目名	創業に関する支援を行います
②目標値	鳥栖Biz相談件数 (現状値) ー 件 ⇒ (H28年度末) 80件 (H32) 100件
③今年度の取組方針	・市内で起業しやすい環境をつくるため、創業支援相談窓口をサンメッセ鳥栖内に設置し、セミナーの開催等により、しごとづくりや地場産業の育成に取り組みます。
④上半期の取組内容	・市内での創業(第2創業を含む)や中小企業者等の経営支援等を図るため、相談窓口を火曜日から土曜日まで(日曜日は要予約)開設し、延べ143件(4月～8月)の相談を受け、個別の相談に応じて指導・支援等を行いました。また、6月14日、24日の2日間において、市内でこれから創業を考えている方を対象とした創業セミナー(初心者向け)を開催し、延べ37名の受講がありました。
⑤下半期の取組内容	・上半期と同様、相談窓口を開設し、創業に関する相談のほか、経営、販路拡大などの各種相談に応じ、延べ180件(9月～1月)に対し指導・支援等を行いました。また、10月には「経営」「財務」「人材育成」「販路開拓」の4つの分野にわたる創業予定者向けのセミナーを開催し、39名の受講がありました。
⑥数値目標の結果	鳥栖Biz相談件数(H29.1末現在) 創業に関する相談件数 175件(35名)
⑦成果と課題 (次年度に向けて)	・創業に関する相談のほか、経営や財務、販路拡大などの各種相談、創業者向けセミナーを通じて、13名の創業者を輩出しました(うち市内での創業者9名)。 ・新年度においても、引き続き、創業支援相談窓口を開設し各種相談に応じた指導・支援等を行うとともに、創業者向けセミナー等を開催し、創業を促進し雇用機会の創出に取り組みます。

◇所管部長の指示

上半期

活力ある街を創出するための創業・経営支援の拡充に努めること。

下半期

引き続き、創業相談業務等に取り組み、創業予定者や相談者の支援に努めること